

山 口 新 聞

平成 26 年 8 月 29 日 (金)

NO.118

会員の皆さん



地域ぐるみで耕作放棄地の解消に取り組む

農地・水・環境 守ろう地域の手に

118

田布施川堤防を走る県道とJR山陽線に挟まれた田園地帯。農道は狭く、コンクリートで造られた水路は

老朽化が進む。大型の農業機械化に対応できず、耕作者の高齢化と共に休耕田が増え、耕作放棄地になって

いく状況にあった。そうした中、念願のほ場整備がやっと見えてきた。県道が狭く地域の悲願だったバイパス道路の建設も、ほ場整備計画と併せて実施される運びに。2008年9月の設立以降、休耕田の保守、農道、水路の維持管

理を主体に活動してきた当会としても、将来の展望が開けてきた。ほ場整備後は地元の担い手と新規参入の担い手との共存を始め、新しい農道、用排水路の新たな維持管理基準の設定と運営など今までは違った維持管理体制の確立が求められている。

瀬戸環境保全会(田布施町)

ほ場整備ようやく実施へ

やっと望んだ状況になったので、会員

相互の一層の団結と協力です晴らしい未来の見通せる地域となるよう努力していきたい。

(代表、谷光央
金曜日掲載)

【メモ】代表 谷光央
▽会員 76人、農家(58戸)、瀬戸自治会、原田井堰水利組合、後井井堰水利組合▽設立 2008年9月13日▽連絡先 田布施町下田布施1509、谷光央さん ☎0820・52・38835